

## 祝 辞<sup>\*)</sup>

Good Morning.....

I just came back yesterday, Thursday 21 March, from the 2-days mission at SEAMEO RETRAC, or the Regional Training Centre under the umbrella of the South-East Asian Ministers of Education Organization, Ho Chi Minh City, Vietnam.....

Distinguished Guests,  
Beloved students,  
Ladies and gentlemen,

It is my great pleasure and honor to be here with all of you,  
on behalf of Division of School Education, Tokyo Gakugei University, and  
of my own as a division head,  
to congratulate you all the completion of university courses, hence your ownership of the Bachelor Degree in Education.

ご卒業おめでとうございます！

本日、平成 25 年 3 月 22 日、ここに、保護者の皆様のご臨席を賜り、「平成 24 年度学位記授与式」を挙行出来ますことは、東京学芸大学初等教育教員養成課程学校教育選修に関わる教員一同にとりまして、この上ない大きな喜びです。

学校教育選修の教室を代表して、一言、ご挨拶を申し上げます。

卒業生の皆さん、

皆さんは平成 24 年度東京学芸大学の卒業生として、この学び舎を巣立っていくことになります。

すでにご案内のように、平成 24 年度本学卒業生数は 1,130 名。うち本選修は、19 名です。

皆さんが今日の晴れの日を迎えることが出来たのは、皆様ご自身のご努力はもちろんですが、ここにご臨席の皆さんの保護者、先生方、教育実習でお世話くださった先生方、そして、大学の職員など、皆さんを取り巻く多くの人たちの支えがあったからです。

「支えてくれた」方々への「感謝」の心を、忘れないで頂きたいと、思います。

実は、

覚えていらっしゃるでしょうか？

みなさんとは、実に、深～い、ご縁があります。

私は、皆さんの多くが、ご入学された平成 21 年 4 月、その 8 日、新入生オリエンテーション時の「履修相談会」で、お話を差し上げております。

この時は、腰越先生が、教室主任をされておりました。

覚えていらっしゃるでしょうか？

2004年4月に移行した法人化の意味を問うて、GPA、Quality Assurance、つまり、質保証、そして、履修基準、己のブランドを持つこと、一流を求めること、

畏れる心、恥じる心、感謝の心で、相手の目線で、相手のフトコロに飛び込んで行ってほしいこと、などを、お話ししています。

実は、これらは、4年経った今、大学が本気になって（と、思いたいのですが・・・）、取り組もうとしております。

遅い、との一言に尽きます。

加えて、その「相談会」の時に、同じく、「少しは健康を害するほどに、がむしゃらに、基礎をいっそう培ってください。」とも、申し上げました。

ところで、パリ・ダカール・ラリーの有名なエピソードをご存知ですか？

1978年12月26日に第1回大会が開催され、この時の名称は「オアシス・ラリー」となっていたということです。

このラリーの創始者はティエリー・サビーヌ（Thierry Sabine）で、彼が、1978年の第1回開催の時に言ったとされる言葉です。

ダカール・ラリー創設の精神を語る言葉として有名です。

ティエリーは運営団体としてTSO（ティエリー・サビーヌ・オーガニゼーション）を設立、主催者としてパリ・ダカを象徴する存在となりましたが、彼は1986年に競技期間中に起こったヘリコプター墜落事故により、「健康を害する」どころではなく、死去してしまいました。

しかし、彼の遺志とTSOは、お父さんのジルベールによって引き継がれ、実は、そのジルベールもティエリー程のカリスマ性を持つには至らず、高齢を理由に1994年1月に引退。TSOは主催者権を売却し、1994年からはフランスのアモリー・グループである「ASO」（アモリ・スポル・オルガニゼーション）が主催しています。

前置きは、この程度にして、言葉を紹介しましょう。

「私にできるのは、“冒険の扉”を示すこと。扉の向こうには、危険が待っている。扉を開くのは君だ。望むなら連れて行こう。」

このスピリットは、少なくとも、私には、私自身の次のような考えの基盤になっていません。

「私にできるのは、“教育の扉”を示すこと。扉の向こうには、“知的興奮”が待っている。

扉を開くのは君だ。望むなら連れて行こう。」

皆さんの指導教員は、皆さんを、お連れしました。

“教育の扉”の前までです。

さっ、・・・・、扉を、開けて、ください。

いよいよ、飛び立つときです。

ライダーから、あるいは身近には、補助輪付自転車から、ジェット機に代わるステップに、皆さんは、立ちました。

これからは、自転車の運転の時、あるいは、水泳選手のように、真下ではなく、少し先を見てください。

10年先あるいは、40年先です。

私事ですが、1976年に発表したA4版の半ページの論文が、いまだネット上に32ドルで売られています。

昨年までは、30ドルでした。

経済の原理に立てば、ニーズがあるからでしょう。カネになるからでしょう。

今から37年前の原稿です。

一方、I社と第二版まで共同開発したホームページを作成するソフトウェアは、今、第18版を重ねています。

こちらは、1997年でした。あれから16年経っています。

「10年先あるいは、40年先」と申し上げた、根拠は、ここにあります。

基礎を強固にし、本質を見極めて、10年先あるいは40年先を見据えて、一步を踏み出すことが、大切です。

そうすれば、あとに残ります。

東京学芸大学、中でも、学校教育選修をご卒業されることに、誇りと自信をお持ちになってください。

基礎と本質の知識や技能と思考方法は、知的興奮の扉を開け、それを持続的に堪能させるために、ここにご臨席の教室の先生方によって、すでに、皆様に、与えられました。

知的興奮を存分に堪能する準備が整っていると、考えています。

そして、もう一つ。関連して。

初等教育教員養成課程は、かつては国立大学教育学部にだけ、置かれていました。

しかし、今は、市場原理と、これに伴う規制緩和によって、おびたしい数の、あるいは、量の、多くの私立大学にも設置され、同様に、おびたしい数の教員が、排出されています。

どうか、彼らとは違った、特色をお持ちになってください。

最近では、ベストワンを求めるのではなく、オンリーワンを求める、というのでしょうか。

限られた時間と空間の中で、さらに付け加えれば、限られた情報と人材の中で、自分の質を高め、自分を越えたオンリーワンが求められます。

今興行中の相撲でも、惜しくも決勝には行けなかった WBC (World Baseball Classic) でも、制限時間や土俵、9 回までや 100 メートル前後の野球場など、時間と空間の制限の中で、集中力と緊張感を高め、最大の力を発揮させます。

私は、皆さん、東京学芸大学学校教育選修をご卒業された方々は、彼らとは、一味もふた味も違って、教育の改善と改革に取り組むことが、その使命だと、思っています。

日常の授業を、難なくこなすことに、満足するのではなく、改革や改善の渦中に率先して身を置き、改革や改善の中心となって活躍するための使命が、東京学芸大学の卒業生に与えられている、と考えています。

学芸大学の卒業生であれば、そこが、教員養成にかかる他の大学等の卒業生と、違うところだ、と私は、考えています。

数多くの経験の、時に論理的な、そして、時には直観的な、組み合わせを、確かで科学的根拠のある資料に基づいて、創造し、インペーションの渦中に身を置いてほしい、と、願っています。

ちなみに、本日皆様が手にされた「スクールイノベーションプラナー」証と、のちにどなたかが手にされる「卒論グランプリ」は、誤解を恐れずに、あえて言えば、私のアイデアです。

これらのインプリメンテーションは、教室の先生方が、これらを世に認知させるのは、皆様と私たち学校教育教室の教員です。

著作権違反に触れないことを願いつつ、Apple 社創始者の一人である Steve Jobs 氏が、2005 年 6 月 12 日、スタンフォード大学における卒業生向けの講演で語った、これまた有名

な言葉、

「Stay hungry, stay foolish」

にならって、ここに、皆様への、贈る言葉、ご挨拶といたしましょう。

「Stay innovative and intelligent with consideration about multidimensional and multidisciplinary harmony at the heart of education of your own and in the world.」

Last but not at least, speak out at the right step to dive into the world filled with variety of intelligent excitement and its responsibility of its own.

Thank you for your attention and patience.

<sup>\*</sup> 本稿は、平成 25 年 3 月 22 日(金)午前 11 時 30 分から、N104 室で行われた「平成 24 年度東京学芸大学教育学部初等教育教員養成課程学校教育選修学位記授与式」における祝辞に、加筆修正等を加えたものである。

平成 25 年 3 月 28 日 学校教育教室主任 篠原文陽児